Panasonic®

施工説明書

木質床材
オーマイティフローリング「銘木」5寸幅

■施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
■梱包材や残材は、法律に従って適切に処理してください。
■取扱説明書は必ずお客様にお渡ししてください。（施工完了後、使い方を説明してください）

安全上のご注意

必ずお守りください

■施工される人への危害を未然に防止するためと、お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、設置工事において必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。
■表示内容を無視して誤った設置をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

⚠注意	この表示の欄は「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害、損害の程度」です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は、絵表示の一例です）

❗	必ず実行していただく「指示」内容です。

⚠注意	❗必ず守る	●接着剤を使用する際は、換気を十分に行う。 守らないと、健康を害するおそれがあります。

施工上のご注意

●天然木を使用していますので、施工前に仮並べを行い、色・柄合わせをしてください。色・柄や仕上がりにおきまして、施工後の責任は負いかねますのでご了承ください。
●この商品は屋内用です。屋外および浴室内部など頻繁に水分と接するところには使用しないでください。また、土足による使用はおやめください。
●下地材、床材の水ぬれにご注意ください。
●大引、根太、合板は乾燥したものを使用してください。
大引、根太・・・含水率　15%以下　　合板・・・含水率　13%以下
乾燥材を使用しない場合や、モルタルなどの下地の湿度が高い場合、踏み鳴り、突き上げ、浮き上がり、床材変色の原因となります。
●さね部の接着剤は指定以外のものを使用しないでください。
指定以外の接着剤を使用すると踏み鳴り、突き上げ、目スキの原因となります。
●床暖房施工の場合は、床暖房パネルの説明書をご覧の上、根太または小根太施工が可能かご確認ください。

※使用する接着剤

	裏面（必須）	さね部（推奨）
一般施工	専用ウレタン接着剤**MT92-10UE**（カートリッジタイプ333ml） または、市販の酢ビ系接着剤	＜さね部専用＞ さね部専用ボンド一般タイプ（オレフィン系） **KE9501E**（500g）
	裏面（必須）	**さね部（必須）**
床暖房施工	専用ウレタン接着剤**MLE050U**（カートリッジタイプ333ml）	＜さね部専用＞ さね部専用ボンド一般タイプ（オレフィン系） **KE9501E**（500g）

（指定の接着剤は室内空気環境に配慮した低VOC対策品です）

施工のしかた

1 下地組み

1. 大引と根太の寸法確認
右図の寸法になっていることを確認する。

※重量物を置く場合は根太本数を密にするか、合板を捨て張りするなどして、下地を補強してください。

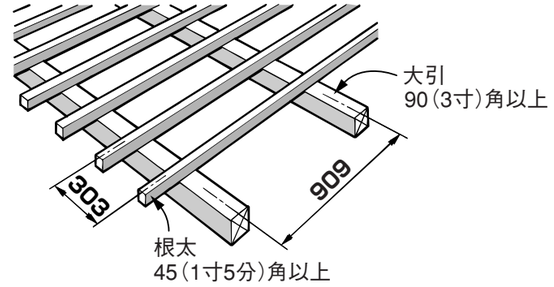
2. 根太組みした面に段差がないことを確認
段違いを防ぐため根太は両面プレーナーをかける。

3. 接着剤とビス等での固定
大引、根太および合板は、ウレタン系または酢ビ系接着剤を塗布し、ビス等で沈め打ちをして固定する。

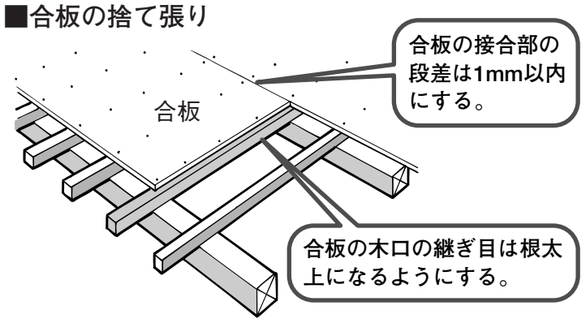
注意

●コンクリートころばし根太での施工は避けてください。

■根太組み



■合板の捨て張り

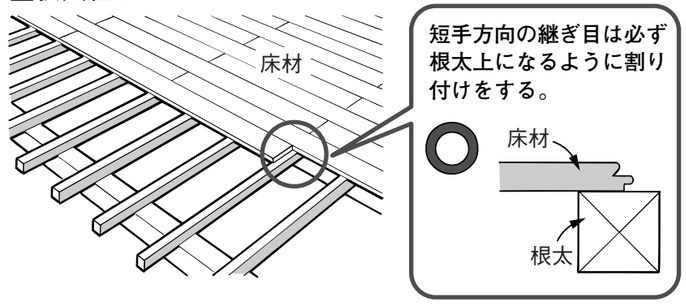


2 仮並べ ・割り付け

1. 仮並べ

※天然木のため、1枚1枚色柄が異なります。美しく仕上げるために仮並べをして色柄のバランスを確認してください。

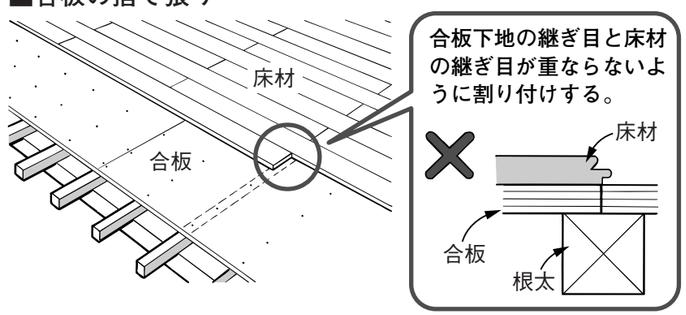
■根太組み



2. 割り付け
●さね方向に注意して割り付けをする。
●根太と床材の長手方向が直交するように割り付けする。

床材のデザイン性を活かしたり、突き上げを防ぐために、3尺(909mm)ずらしのりゃんこ張りをおすすめします。

■合板の捨て張り



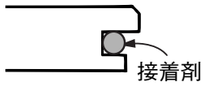
3 床材の接着

1. 床材裏面と根太の接着

踏み鳴り、浮き上がり、床材の伸縮を防ぐために、根太位置に直径4～5mmの棒状に接着剤を塗布し、接着する。
※塗布量は1mあたり20gを目安にする。

2. さね部の接着

雌さね部全長に塗り残しのないように塗布し、接着する。
床暖房施工時は必ず接着してください。



直径3～4mm程度の棒状に塗布。
塗布量目安：10～15g／m

注意

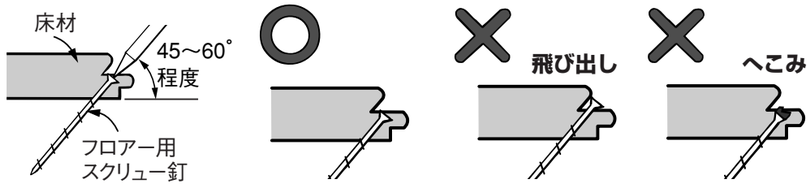
- さね部の接着剤は指定以外のものを使用しないでください。
（指定の接着剤は**「施工上のご注意」**を参照）
- 継ぎ目からはみ出したり、床材表面に付いた接着剤は、湿った布で速やかにふき取ってください。
（硬化すると取り落とせなくなる場合があります）

4 釘打ち・ステープル打ち

■ 釘打ち

雄ざね部に45～60°の角度でスクリュー釘を打つ。

※釘は長さ38mm以上のスクリュー釘を使用してください。



■ ステープル打ち

- ステープル打ち機のエアー圧は、試し打ちなどを行い強さを調整する。
- 頭の出すぎ、もぐりすぎに注意する。

※ステープルは長さ38mm以上のフロアー用を使用してください。

- ステープルは下記市販のものを推奨します。
○MAX　938Tフロア、944Tフロア、951Tフロア、957Tフロア
○カネマツ　1138Kフロア、1145Kフロア、1150Kフロア

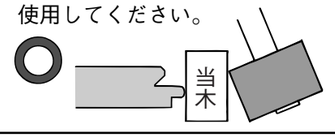
注意

- 壁際は3～5mm程度開けてください。
- フィニッシュネイルは使用しないでください。

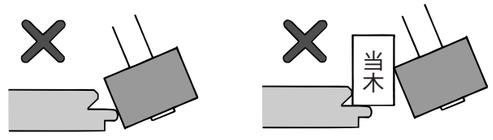
短手にも1か所スクリュー釘またはステープルを打つ。
（一般施工、床暖房施工ともに）

床材の切断と締め付けについて

- のこぎりでの切断時は切れる刃物で表面側から行ってください。
- 締め付け時は当木を下図のように使用してください。



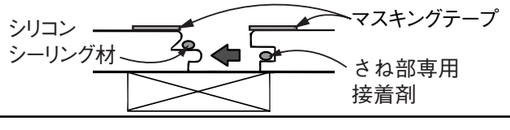
注意 当木の当て方に十分注意してください。
直接たたくと欠けやさねのつぶれの原因となります。



水まわり・ペット同居の場合の施工

- 洗面所、脱衣所、トイレ、ペット同居の場合の施工は下記の通りシリコンシーリング施工をしてください。

1. シリコンシーリング材が床面表面に付着しないように、周囲にマスキングテープを貼ってください。
   - さね部はさね部専用接着剤とシリコンシーリング材の併用になります。
2. 短手、長手の雄ざね上部にシリコンシーリング剤を塗布してください。また、部屋の周囲（壁、敷居などとの隙間）にも注入してください。



注意

床材表面にシリコンシーリング材が付着し塗り広がった場合、すべりやすくなるので、表面に付着した場合は温水のしみ込んだ布で速やかに除去してください。
硬化すると取り落とせなくなります。

※シリコンシーリング材は下記市販のものを推奨します。
○シリコンシーラント　セメダイン8060（クリアー色）
○シリコンシーラント　セメダイン8070（クリアー色）
○セキスイ　シリコーン及びシリコーンS（クリアー色）
○コニシボンド　シリコンコーク（クリアー色）

床暖房仕上げ材として施工する場合

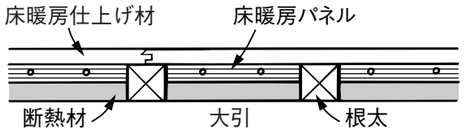
施工前のご注意

- 根太のピッチは303mmが標準となります。それ以上のピッチの床暖房パネルのご使用はお避けください。
- 寸法安定性を保つため、製品の含水率を調整しています。水に濡らさないようにしてください。

1. 下地組み　床暖房パネルの説明書に従って、パネルを施工する。

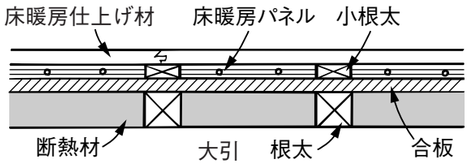
■根太間タイプの床暖房パネルの場合

根太間に床暖房パネルを入れ、パネル下のすき間は断熱材（グラスウールなど）で埋める。



■小根太付き床暖房パネルやハードパネルの場合

根太上に12mm厚以上の合板を捨て貼りし、その上に床暖房パネルを施工する。

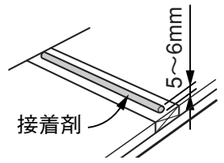


2. 仮並べ・割り付け

一般施工にならい、仮並べ・割り付けを行う。
- ハードパネルの場合はフロアー継ぎ目（短手側）が釘打ち可能箇所にくるように割り付ける。

3. 床材の接着

- 根太間パネルの場合は根太上に接着剤を塗布する。
- 小根太付きの場合は小根太上と小根太の延長線上に接着剤を塗布する。
- ハードパネルの場合は釘打ち可能箇所と釘打ち可能箇所の延長線上に接着剤を塗布する。（さね部の接着については**「床材の接着」**を参照）



4. 釘打ち・ステープル打ち

一般施工にならい、釘打ち・ステープル打ちを行う。

※根太・小根太および釘打ち可能箇所に打ってください。
※フィニッシュネイルは使用しないでください。

一般施工よりも目スキ・突き上げなどが起こりやすいため、以下の点にご注意ください。

- 床材短手のジョイントは根太・小根太・釘打ち可能箇所上で行ってください。
- 根太・小根太・釘打ち可能箇所に接着剤および釘・ステープルにて施工してください。
- 床暖房の昇温試験は、接着剤が硬化してから行ってください。目安として1週間以上の養生をとることをお勧めします。

5 養生

施工後は傷や汚れを防ぐために、ビニールシート・発泡シートなどの養生シートを敷き込んでください。
さらに、その上に段ボールや合板を敷いて、十分に養生してください。

注意

- **養生テープは床用養生テープを使用してください。** ガムテープや両面テープを使用されますと、床材表面のはがれや変色が起こる場合があります。
- **養生中は雨水やペンキなどが養生シートにしみ込んで汚染が生ずることがありますので注意してください。**
- **養生シートは必ず床全体を覆ってください。** 養生シートで覆われていない部分が変色する場合があります。

◆ 施工後の確認　※ワックスがけは不要です。

■右記の表に従い、施工の仕上がりをチェックしてください。

チェック項目	チェック	チェック項目	チェック
表面に汚れ（接着剤付着・ごみ・砂など）がないことを確認しましたか?		床用養生テープを使用していますか?	
		養生シートで床全体が覆われていますか?	

パナソニック電工株式会社　内装建材事業部
［〒571-8686］大阪府門真市門真1048
パナソニック電工群馬株式会社
［〒378-0035］群馬県沼田市井土上町135番地

© Panasonic Electric Works Co., Ltd. 2008

D1106-3128